

JSBA ジュニア農芸化学会2026

高校生による研究発表会

— 化学・生物・環境・生命科学 —



農芸化学会とは…

動物・植物・微生物の生命現象、生物が作る物質、食品と健康などを、主に化学的な考え方にもとづいて基礎から応用まで広く研究する分野です。

日本農芸化学会大会は、この農芸化学分野の研究者約5,500人が毎年一同に介する国内有数規模の大会です。

ジュニア農芸化学会は、2006年度から始まった大会期間中に開催される高校生による研究発表会です。

この機会に、みなさんの研究成果を発表してみませんか？

日時

2026年3月12日(木) 9:00～14:00 (予定)
※日本農芸化学会2025度大会の会期中(3月9～12日)に開催します

会場

同志社大学室町キャンパス寒梅館
(京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103)

9月下旬より応募受付を開始します (12月5日17:00締切)

ジュニア農芸化学会に参加すると…

- 全国の高校生と研究活動を通じて交流
- 農芸化学会に参加する大学教員、企業や公的機関の研究者、大学院生と質疑応答
- 優秀な発表にはポスター賞の顕彰
- 発表演題の中から数題を選抜し、日本農芸化学会和文誌「化学と生物」に農芸化学@HighSchoolの記事として掲載

ジュニア農芸化学会
参加登録料
無料注

注

- ジュニア農芸化学会の開催日に開かれる日本農芸化学会2026年度大会の一般講演とシンポジウムに参加できます。
- なお、大会の全てのイベントへ参加するには別途、日本農芸化学会2026年度大会への参加登録が必要です。
- 参加登録料は無料ですが、会場への交通費・宿泊費・発表準備に関する費用（ポスター印刷費など）については、各校においてご負担をお願いします。
- ジュニア農芸化学会の会場には事前登録いただいた発表者と引率者のみ入場できます。

応募資格

高等学校の生徒、もしくは、高等専門学校の生徒(3年以下)であること
(例：高等学校化学クラブ、生物クラブ、生活科学クラブ、農業・園芸関係高等学校他)
指導の先生も参加可能 **『発表件数を1校あたり3件』**とさせて頂きます
(* 応募多数の場合は1校あたりの発表件数の削減をお願いする場合がありますので、ご了承ください)

研究分野

化学、生物、環境、生命科学および
それに関連した研究一般

Webサイト

発表形式

ポスター: A0判1枚以内 (横 84.1 cm × 縦 118.9 cm) https://www.jsbba.or.jp/science_edu/event_junior.html

問合せ先

日本農芸化学会2026度大会 ジュニア農芸化学会担当
村井 正俊 (京都大学大学院農学研究科)
E-mail: jsbba.kyoto2026+junior-meeting@gmail.com



生命・食・環境を科学する学会
公益社団法人 日本農芸化学会

